

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本

2019年本屋大賞

本屋大賞

大賞

『そして、バトンは渡された』
瀬尾まいこ(文藝春秋)

2位 『ひと』

小野寺史宜(祥伝社)

3位 『ベルリンは晴れているか』

深緑野分(筑摩書房)

4位 『熱帯』

森見登美彦(文藝春秋)

5位 『ある男』

平野啓一郎(文藝春秋)

6位 『さざなみのよる』

木皿泉(河出書房新社)

8位 『ひとつむぎの手』

知念実希人(新潮社)

7位 『愛なき世界』

三浦しをん(中央公論新社)

9位 『火のないところに煙は』

芦沢央(新潮社)

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

2017年12月〜2018年11月に刊行された日本人作家の小説の中で

書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めした、と思った作品です。

10位 『フリーガはユーガ』

伊坂幸太郎(実業之日本社)

Supported by

NOLTY PAGEM
ノルティ ペイジウム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。